

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 12 月 6 日 (2007.12.6)

【公表番号】特表 2003-535931(P2003-535931A)

【公表日】平成 15 年 12 月 2 日 (2003.12.2)

【出願番号】特願 2002-501979(P2002-501979)

【国際特許分類】

C 0 8 F 236/12 (2006.01)

C 0 8 F 2/38 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 236/12

C 0 8 F 2/38

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 17 日 (2007.10.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 不飽和ニトリルと共役ジエンとをベースとする分枝鎖コポリマーにおいて、結合した不飽和ニトリルの含量が 15 ~ 50 質量%であり、ムーニー粘度は 15 ~ 150 M.E. [ML1 + 4 / 100] の範囲であり、鎖分枝は 0 ~ 20° (Δδ_B - 値により測定) の範囲であり、かつ 20 でメチルエチルケトン中で測定した溶解度は 85 質量%である、ことを特徴とする不飽和ニトリルと共役ジエンとをベースとする分枝鎖コポリマー。

【請求項 2】 使用したモノマーをエマルジョン中で鎖長調節剤の存在下に常法で重合し、その際鎖長調節剤の添加を少なくとも 2 段階で行い、変換率が少なくとも 80 % である、請求項 1 記載の分枝鎖コポリマーの製法。

【請求項 3】 不飽和ニトリルと共役ジエンとをベースとする水素化コポリマー (HNBR) を製造するための、射出成形法または押出成形法で製造する全ての種類の成形体を製造するための、およびエラストマーの流動性を改善するための、請求項 1 記載の分枝鎖コポリマーの使用。

【請求項 4】 通常の方法で水素化し、その際残りの二重結合の含量が、ASTM D5670 - 95 により測定して、0 ~ 30 % の範囲である、請求項 1 記載の分枝鎖コポリマー。